

しゅわ じょうず ねが
手話はまだまだ上手ではありませんが よろしくお願いします

1

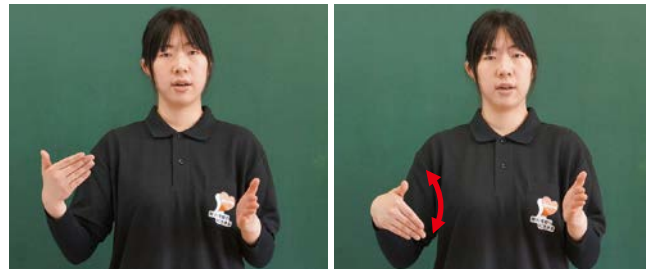
<手話>



りょうて ひと ゆび の からだ まえ じょうげ お つぎ
両手の人さし指を伸ばし、体の前で上下に置き、次に
2～3回回転させます。

2

<まだまだ>



からだ ひだりがわ ひだりて お つぎ みぎて てのひら みぎかた
体の左側に、左手を置きます。次に、右手の掌を右肩
の位置から下に2回動かします。

3

じょうず へた しゅわ
<上手ではない 下手という手話>



ひだりうで みぎて ゆびさき みぎてくび
左腕に右手の指先をくっつけ、右手首を返しなが
ら右手を跳ね上げます。



4

<が・けれど>



みぎて てのひら ひろ みぎかた たか お つぎ てのひら じぶん
 右手の掌を広げ右肩の高さに置き、次に掌が自分のほうに向くように、ひっくり返します。

5

<よろしくお願ひします>



みぎて にぎ はな まえ お ひろ あと まえ うご
 右手の握りこぶしを鼻の前に置き、広げた後、前に動かします。

まず手話を使ってみよう

手話を使うことに自信がないとか、自分は下手だと思って、手話を使うことをためらっている人もいます。しかし、多くの聴覚障がいのある方は、上手下手とかは関係なく、一生懸命手話を使おうとしている姿がうれしいと言っておられます。

「伝えたい」という気持ちを込めて、まず手話を使ってみましょう。

好きな教科は何？

<すき>

1



みぎて おやゆび ひと ゆび の もと お
右手の親指と人さし指を伸ばしてのど元に置き、
まえなな した ひ
前斜め下に引きながら閉じます。

<教科：教えると「か」を合わせて>

2



みぎてひと ゆび あたま まえ ぜんぽう かい つぎ ゆび も しめ
右手人さし指を頭の前から前方に2回ふり、次に指文字の「か」を示します。

<何>

3

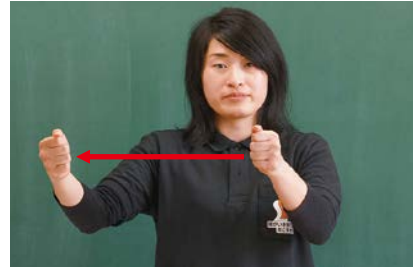


みぎて ひと ゆび の さゆう かい
右手の人さし指を伸ばし、左右に2回ふります。

こくご 国語です

<国 語>

1



りょうて にぎ ひだりて みぎて みぎがわ いどう
両手とも握りこぶしにし、左手はそのまま、右手を右側に移動させます。

しゅわ しゅうもんへん きょうかめい しゅわ しょうかい さんこう
手話ハンドブック（入門編）の41ページからは、教科名の手話を紹介しています。参考にしてください。



てあら ぼしよ わ お手洗いの場所は分かりますか？

てあら
<お手洗い>

1



てあら
手を洗うしぐさをします。

<トイレ>



いっしょ あらわ
「W」と「C」を一緒に表します。

か

ば しよ
<場所>

2



かる ゆび ま みぎて てのひら した
軽く指を曲げた右手の掌を下に
む すこ お
向け、少し下ろします。

3



みぎて てのひら かる むね つぎ みぎて てのひら うえ む
右手の掌を軽く胸にあて、次に右手の掌を上に向けます。



ここをまっすぐ行って右側です

<ここ>

1



みぎてひと ゆび した ゆび
右手人さし指で下を指さします。

<まっすぐ行って>

2



みぎて からだ まえ まえ うご
右手を体の前から前にまっすぐ動かします。



みぎがわ みぎ あ
<右側です：右とあたりを合わせて>

3



みぎ ま みぎ うご
右ひじを曲げ、右に動かします。



つぎ かる ゆび ま みぎて てのひら した む ちい えん えが
次に軽く指を曲げた右手の掌を下に向け、小さく円を描きます。